

様式第4号（第5条関係）

平成28年3月31日

古賀市議会議長

議員名 高原 伸二



平成27年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成27年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
 - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
 - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
 - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成27年度政務活動費収支報告書

議員名 高原 伸二

1 収入

政務活動費 100,000 円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費		
研修費	217,398	1、2、3、4、5、6
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
支出合計	217,398円	

3 残額 0円

別紙2

平成27年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	27年7月6日～10日	市町村議会議員 特別講座Ⅰ(政策 基本コース)	62,430円	旅費・宿泊費・ 研修費
2	27年7月29日	地方創世、地域活 性化にむけて(応 用編)	15,000円	研修費
3	27年7月30日	議会基本条例と 議会改革	15,000円	研修費
4	27年8月25日	効果的な一般質 問作成ノウハウ	15,000円	研修費
5	27年10月28日～ 30日	市町村議会議員 特別講座Ⅱ(政策 立案コース)	48,230円	旅費・宿泊費・ 研修費
6	27年11月18日・19 日	全国市議会議長 会研究フォーラ ムin福島	61,738円	旅費・宿泊費・ 研修費

※研修及び視察には報告書を添付のこと

参考様式（必要に応じ使用）

支出内訳書の番号 <u>1</u>	
調査研究報告書	
1 名称	市町村議会議員特別講座Ⅰ（政策基本コース）
2 目的	全国より参加者がいるため、地元自治体での抱えている問題、各自治体の状況等の情報交換、意見交換等を行い、自己のスキルを高めたい。
3 実施時期	27年7月6日～10日
4 実施場所	〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番
5 参加者	高原 伸二
6 その他	報告書別紙

市町村議会議員特別講座 I (政策基本コース) 研修報告

研修期間 7月6日(月)～7月10日(金) 5日間
研修地 〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番地
名称 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
参加者 高原 伸二

国が最重要課題として位置づけている「地方創生」の目的は、地方の活性化です。その実現には、自治体運営が重要なポイントであり、「行政・議会・住民」が一体となってこの地方創生を推し進めていくべきである。(理想論的な考え方でもある)

議会は、「執行部である行政」と「受益者である住民」とをつなぐ架け橋の役割を担っている。すなわち、地方の活性化の実現のためには、行政と住民とをつなぐ役割を果たしている地方議会の存在が重要である。

しかし、昨今の地方議会には、以下のような問題点、又は課題があります。

- 1) 投票率の低下
- 2) 地方議会は「動きが不透明」という住民からの指摘があり、また、議員の不祥事報道等により、議員に対する不信感が高まっている。
- 3) 議会広報で住民に議会活動内容が十分に伝わっていない。
- 4) 議会報告会への住民参加が少ない。
- 5) 議会活動をどうすれば住民に理解されるか。

これらの問題点・課題に対しては、地方議会の印象改善に取り組むべきである、と考えます。

総務省の意見に上げられているように、住民一人ひとりが自己決定・自己責任のもと、行動することは大事ですが、地方議会が行政チェック機能をきちんと果たし、議会としての自己決定・自己責任を理解したうえで、個性ある議会づくり・町づくりを目指す姿勢が最も求められています。それには、「首長・議員・住民」が対等の立場で面と向かって堂々と議論する機会の設置」であると考えます。

その効果としては、議会は不満や不振を抱く住民の生の声を聞くことができます。そして、自分たちの活動に何が不足しているのかを発見できます。これにより、住民と議会との新たな関係が創出され、開かれた議会を実現することができます。

議会は、地方議会が住民の信頼のもとに形成されていることを示し、自治体が今後さらに活性化できるように、議員及び議会は、民意反映能力、政策形成能力の向上に努めていかなければならない。

※ 最近、地方議会の負の部分に非常に注目が集まっています。議員としてあたりまえの感

党は、一般市民の感覚と大きくかけ離れていることが原因と考えられます。この辺の議員の意識改革が重要です、意識改革は新しいことに取り組めば良いわけではなく、地道に足元を固めることが重要だと思います。そしてそれが、議会改革につながると思います。

参考様式

<p>支出内訳書の番号 2</p> <p style="text-align: center;">調査研究報告書</p>	
1 名称	地方創世、地域活性化にむけて（応用編）
2 目的	元武雄市長が講師であったため、午前の「基礎編」からの続きで「応用編」の（自治体競争を生き抜く勘所）を学ぶため。
3 実施時期	27年7月29日
4 実施場所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル
5 参加者	高原 伸二
6 その他	<p>元武雄市長の樋渡慶介氏が講師で、午前中に「地方創世、地域活性化にむけて（基礎編）」と題して、①武雄市での取り組み ②自治体経営の改革と情報発信 ③Facebookを用いることで何が起きたか ④これからの地方議員に向けてと題しての講演を聞かせて頂き、満足度調査からの「横の公平性から縦の公平性」への移行・組み合わせ作り「HPはFBと、武雄市図書館はCCCと組む」等他多数の内容を聞き応用編へと流れた。</p> <p>図書館で有名になった武雄市ですが、オープン当事のスターバックス(日本全国で約1,000店舗あるコーヒー店)の売り上げは、全国で2位だったそうです。(武雄市の人口5万人強現在でも、20~30番の売り上げ。)ここで気になったのが、図書・病院・市役所等、人を呼び寄せる物は随意契約が良い、との考え方。(安いものは公募でOK)であったり、ケーブルテレビ・インターネットを使った議会中継のあり方、公共交通のあり方、議会の中での会派のあり方等、大変貴重な講演で有意義でした。</p>

参考様式

支出内訳書の番号 <u>3</u>	
調査研究報告書	
1 名称	先進自治体に学ぶ議会改革 議会基本条例と議会改革
2 目的	古賀市での議会基本条例の活用方法がこれで良いのか、という思いもあり、先進自治体に学びたく。
3 実施時期	27年7月30日
4 実施場所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル
5 参加者	高原 伸二
6 その他	<p> 講師 三谷 哲央 氏 三重県議会議員 議会改革推進会議 会長 </p> <p> ※ 三重県議会は、平成18年12月議会で議会基本条例を都道府県としては全国で初めて制定し、議場の対面演壇方式、予算決算常任委員会の改革、定例会の召集回数や会期の見直しなどの様々な議会改革に取り組んできています。 </p> <p> 三重県議会の議会改革が芽生えた背景には、平成7年の北川知事誕生によるものと考えられる。(全国の地方自治体で官官接待、予算の不適切執行が問題化。三重県でも旅費等を原資とした裏金作りが発覚。この問題を気に北川改革が始まる) 「住民満足度の向上」を目指し、生活者起点の県政へと方向性を新たにし、職員の意識改革へ取り組むと共に議会改革へ臨んだ。 </p> <p> 1) 平成7年 議会に係る諸問題委員会 設置 2) 平成8年 議会改革検討委員会 設置 3) 平成9年 行政改革調査特別委員会 設置 4) 平成10年 予算決算特別委 設置(現在常任委員会) 5) 平成12年 政務調査課、政策法務担当を置く 6) 同 年 職員を法制局へ派遣(1人、2年間) </p>

7) 平成 13 年 政策法務監を設置

8) 平成 14 年 三重県議会の基本理念と基本方向 を議決
基本理念 (3) と基本方向 (5) を掲げ議会改革が始動。

①傍聴規則の見直し=受付簿の廃止、傍聴席での写真・ビデオ撮影・録音等解禁、児童・乳幼児の傍聴解禁、議案・発言通告一覧配布等多数。②住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進 ③独自の政策提言と政策立案の強化 ④事務局による議会サポート体制の充実と強化 他大変興味ある内容で、今後古賀市で活かしていければと思います。

参考様式

<p>支出内訳書の番号 <u>4</u></p> <p style="text-align: center;">調査研究報告書</p>	
1 名称	<p>役所を動かす議員活動</p> <p>効果的な一般質問作成ノウハウ</p>
2 目的	<p>どのような質問の仕方がよいのか学ぶため</p>
3 実施時期	<p>27年8月25日</p>
4 実施場所	<p>〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14</p> <p style="text-align: right;">リファレンス駅東ビル</p>
5 参加者	<p>高原 伸二</p>
6 その他	<p>講師 宮本 正一 氏 医療・健康問題研究所代表</p> <p>平成07年 27歳で寝屋川市議会議員(平成27年まで20年間)</p> <p>平成20年 橋下とおる選挙対策本部統括事務局長</p> <p>平成24年 第54代市議会議長</p> <p>平成27年 寝屋川市長選挙出馬</p> <p>住民相談から質問へもって行く方法は、「まず現場を知る、そして担当課と協議すること、次に先進地への視察、最後に情報収集である」と思いますが、この方法だと質問にいたるまでに半年・一年位かかってしまいます。それともそれで良いのか。(効果的な質問になりそうではある)</p> <p>理想的な質問とは、「質問の範囲・質問の効果・質問の取り扱い」等勉強させていただき、私なりに「議員主導による政策論議」であるから十分な準備が必要。出来れば次元の高い質問を展開していきたいと思えます。</p> <p>ここで学んだことが、少しでも古賀市の役に立てればと思っていますが、もう少し、冷静に、理論立てて、淡々と、媚びない、質問をしていきたいと思えます。</p>

参考様式

支出内訳書の番号 <u>5</u> 調査研究報告書	
1 名称	市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）
2 目的	前回参加した特別講座Ⅰ（政策基本コース）が良かったので、次のステップへ向けて自己を高めるため。
3 実施時期	27年10月28日～30日
4 実施場所	〒261-0025 千葉県美浜区浜田1丁目1番
5 参加者	高原 伸二 結城 弘明 岩井 秀一 井之上 豊 姉川 さつき 平木 尚子
6 その他	報告書別紙

市町村議会議員特別講座Ⅱ(政策立案コース) 研修報告

研修期間 10月28日(月)～10月30日(金)3日間
研修地 〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番地
名称 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
参加者 高原 伸二 結城 弘明 姉川 さつき 岩井 秀一

初日は、入寮オリエンテーションから始まり、開講式、開講オリエンテーションの後、講義が始まりました。

全体テーマとして、人口減少社会への対応と地方創生

政策立案演習テーマとして

- ①：地域での高齢世代対応—公共サービスのあり方、家族支援等—
- ②：地域での若年世代対応—就労・結婚・子育て支援等—
- ③：人的資源を生かしたまちづくり—コミュニティの活性化、人材育成等—
- ④：わがまちの特性を生かしたまちづくり—産業・歴史・文化—

以上の中から1つを選ぶということで、我々の班は④のテーマを選び、三日間を掛けて討議・発表を行いました。

古賀市のスイーツコーンを活かした街づくりをテーマとし、全体テーマやサブテーマについての現状や課題を掘り起こし(福岡市都心部まで約15kmの至近距離にあり、JR鹿兒島本線、国道3号線などの幹線がされており、その周辺に市街地、商業地、工業地がある。また、九州自動車道の古賀インターチェンジ・古賀サービスエリアが位置するなど、広域交通の要所の1つとなっている。現在古賀市には、JA全国青年大会で最優秀賞を受賞した特産の古賀スイーツコーンがあるが、活かしきれていない。)目的と目標を認識し(1、スイーツコーンの生産量・品質を向上させ、併せて生産者の所得向上を図る。2、交流人口拡大。)実施方法を考え(1、耕作放棄地に古賀スイーツコーンを作付けし、生産量の拡大を行う。2、6次産業化達成を目指し、生産者と加工業者と流通業者で協議を行う。3、地元企業と「ハウス食品、山崎製パン、ピエトロ等」協力し、スイーツコーンを活用した新商品を開発。4、農業体験「グリーンツーリズム」実施する。)実践する。効果としては(1、ブランド化の確立と生産者の所得向上につながる。2、交流人口の増加により、後継者・新規就農者が期待でき、人口流出に歯止めが掛かる。)が期待される。政策実施に必要な資源は(1、庁内に地方創世戦略室を立ち上げる。2、地元企業開発部の人材を活用する。3、地方創世予算を活用。4、経済産業省の補助金。)等を用いる。

以上。

基礎編(5日間)同様、大変有意義な時間(3日間)を過ごすことが出来ました。

第2845号

修了証書

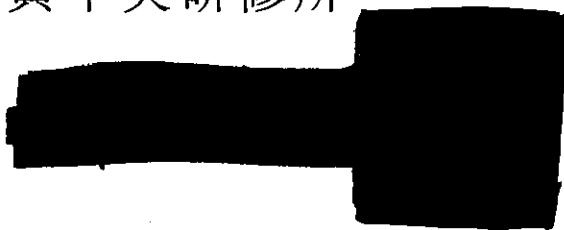
福岡県古賀市議会
高原 伸二

あなたは、政策課題研修課程「市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）」（第29期第1組）において所定の課程を履修しこれを修了したことを証します。

平成27年10月30日

市町村職員中央研修所

学 長



参考様式

支出内訳書の番号 <u>6</u>	
調査研究報告書	
1 名称	全国市議会議長会研究フォーラム in 福島
2 目的	テーマが、「震災復興・地方創世」であるため、人口減少・少子化問題が課題となっている今日、地方創世に向けて何をすべきか。又、東日本大震災の被災地（福島）での開催なので、災害対策等学ぶため。
3 実施時期	27年11月18日・19日
4 実施場所	福島文化センター （福島市春日町5-54）
5 参加者	高原 伸二 結城 弘明 岩井 秀一 姉川 さつき
6 その他	報告書別紙

全国市議会議長会研究フォーラム in 福島 研修報告

研修期間 11月18日(水)・19日(木) 2日間
研修地 〒960-8116 福島県福島市春日町5-54
名称 福島文化センター
参加者 高原 伸二 結城 弘明 姉川 さつき 岩井 秀一

11月18日

(13:20~14:20)

1) 基調講演 「大震災からの復興と備え」

講師 五百旗頭 真 (いおきべ まこと) 熊本県立大学理事長

(16:40~17:40)

2) パネルディスカッション 「震災復興・地方創世の課題と自治体の役割」

コーディネーター	城本 勝	NHK 福岡放送局局長
パネリスト	大滝 精一	東北大学大学院経済学研究科教授
	役重 眞喜子	花巻市コミュニティアドバイザー
	山下 裕介	首都大学東京准教授
	金井 利之	東京大学公共政策大学院教授
	高木 克尚	福島市議会議長

11月19日

(9:00~11:00)

3) 課題討議 「震災復興と議会～現場からの報告」

コーディネーター	河村 和徳	東北大学情報科学研究科准教授
事例報告者	伊藤 明彦	陸前高田市議会議長
	熊谷 伸一	気仙沼市議会議長
	平田 武	南相馬市議会議長

今年の全国市議会議長会は「震災からの復興」をテーマに、北海道から沖縄まで全国から約2,000人の議員が参加し開催されました。

1) 基調講演は、熊本県立大学理事長で東日本大震災後に、政府が創設した東日本大震災復興構想会議の議長、その後に創設された復興推進委員会委員長を務められた「五百旗頭真」氏で、震災復興に取り組まれた経験から、大変重要な内容でした。東日本大震災の復興は、史上最も手厚い支援でありその細かな対応は、阪神淡路大震災の教訓が大いに生かされ

ているとのこと。自治体の支援やボランティアの配置に至るまでうまく機能し、発災直後の人命救助においても自衛隊をはじめ警察、消防などの連携もその教訓が生かされていたそうです。しかし、地震の復興はそれなりに進んでいるが福島原発事故は、まだまだ復興が遅れていて、腰を据えた粘り強い取り組みが必要であるとのことでした。

震災後、「国土強靱化法」が制定されて、この法律等を駆使して安全・安心な国づくりをし、特に津波の備えは早急に進めなければならないとのことでした。

自分の命を守るには、自身の対応を向上させることが必要であること。次に、共助においては日頃より地域のコミュニティづくりをしっかりと構築しておくことが重要とのこと。それは、阪神淡路大震災のとき西宮市で生存された地域が著しく偏っているのが分析した結果、お祭りのある地域が多く生存者がおり、日頃の町内会のコミュニティづくりが共助の際、救助対象者をいち早く見だし、多くの命を救えたことを事例として挙げられていました。

2) パネルディスカッションは、先ず、パネリストから復興の現状と課題をテーマに順に発表がありました。

大滝精一氏から、被災地の中心的な産業は、農業、漁業、水産加工業などの一次・二次産業が占めていること。農地の復興、漁獲量、水産加工量などは7～8割近くまで回復しつつあること。主力産業は震災前に戻りつつあるものの、復興特需に支えられている建設業は、復興が進むにつれ需要の減少が不安材料である等とのことでした。

役重眞喜子氏から、復興のゴールが不明瞭で、復興の手法は、変わらない補助金行政の弊害があり、なかなかしづらいものがあるということでした。ご自身の経験された体験からの意見で興味あるものでした。

山下氏から、東北の事は震災後、国は何でもやってくれるという勘違いがあるのではないかと。又、何のための復興か・国に依存しすぎではないかと。国家のための復興か・大いに疑問を抱く復興策を感じるとのことでした。

金井氏から、人口減少社会のなかで、息の長い取り組みが必要である被災地の実情は、国民に知ってもらいたくないのではないかと。「復興をさらに支援して下さい」と被災地自治体に言わせるようにしているとのことでした。

高木議長から、震災後の被害の状況や避難状況、福島市が取り組んだ災害復旧、復興に向けた計画の説明がありました。議会の取り組みとしては、市議会災害対策連絡会議の設置、大災害に関する各常任委員会の所管事務調査結果報告、全議員による東日本大震災復旧復興対策並びに原子力発電所事故対策調査特別委員会の設置、各省庁に対し意見書の提出等とのこと。又、除染が進むにつれての市民の問題は色々出てきているとのこと。

以上の発表後、復興と地方創生について、自治体・議会の役割について、等の討論が行われ終了しました。

3) 課題討議は、「震災復興と議会～現場からの報告」をテーマに、被災された「陸前高田市・気仙沼市・南相馬市」の三市議会議長が「①災害発生時に求められる地方議会の対応力 ②復旧・復興過程における対首長・対住民関係 ③将来に向けた取り組みの必要性について」の三点を論点に議論しました。

陸前高田市の伊藤議長から、震災当日平成 23 年 3 月 11 日は、常任委員会開催中で議員 2 人、事務局職員 4 人が犠牲になったとのこと。庁舎も倒壊したので中学校の教室において臨時会を開会し新年度予算成立させ、全員協議会を開催し被災状況を調査し、特別委員会の設置を確認。その後、特例で議員任期が延長されたとのこと。住民懇談会、特別委員会中間調査結果報告等を実施し、この間に議長が逝去されたとのこと。改選後、震災復興特別委員会設置、議会報告会実施、等、大変な日々であったとのこと。

気仙沼市の熊谷議長から、復興のリーディングプロジェクトとして沿岸部に 2 つの大きな橋の整備と新しい市立病院の建設事業を計画して産業再生等の復興に向けた計画をされているとのこと。

南相馬市の平田議長から、東京電力福島原発の爆発事故の件についてお話がありました。原発から 30 km 離れたところに位置する南相馬市は大きな放射能被害があり、被災直後の東京電力の賠償の一時金では、原発からの距離だけで金額が異なり、市民の不信感が多くその対応に苦慮されたとのこと。福島県の被害は津波より放射能汚染被害が深刻で、これから先の長い世代を超えた長期的な戦いであるとのこと。

NO 1

領 収 証

№ 078718

高 原 様

2015 年 7 月 3 日

金 額				7	5	4	1	8	0
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

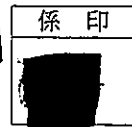
但しAIR券代067
上記の金額正に領収致しました



請求 No.	
現金	
内 小切手	
訳 振 込	
相 殺	



ジョイトラベル
〒811-3103 福岡県古賀市中央1丁目6-40
tel (092)943-1355
fax (092)943-1366



高原 伸二 様

予約確認/請求書

福岡県知事登録旅行業 第2種-380号

ジョイトラベル有限公司

総合旅行センター

〒811-3103 古賀市中央1丁目6番40号

ツアー名: JAL往復航空券(福岡⇄羽田)

出発日: 2015.07.05(日)

TEL: 092-943-1355 責任者: [REDACTED]

FAX: 092-943-1366 担当者: [REDACTED]

予約内容

■JR・航空・フェリーなど

利用日	出発地	到着地	便名	クラス	発時間	着時間	備考
2015/07/06	福岡	羽田	JAL306	普通席	9:00	10:40	
2015/07/10	羽田	福岡	JAL323	普通席	15:20	17:10	

■備考

請求内容

No.	項目	単価	数量	金額	備考
1	JAL航空券(福岡⇄羽田)	54,180	1	54,180	
		合計		54,180円	
				お預り金額	54,180円
				ご請求金額	0円

お振込先

[REDACTED]
お振込手数料についてはお客様にてご負担下さいます様よろしくお願い致します。
2015.07.03(金)までにお振込み下さるようお願い申し上げます。

本請求書により、前回までの請求書を無効とします。

備考

第 803号

修 了 証 書

福岡県古賀市議会

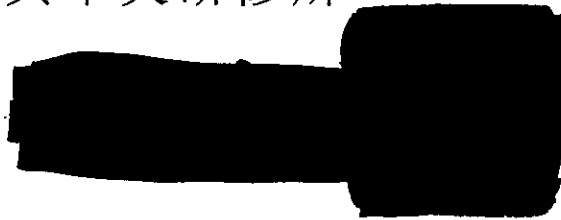
高原 伸二

あなたは、政策課題研修課程「市町村議会議員特別講座Ⅰ（政策基本コース）」（第29期第1組）において所定の課程を履修しこれを修了したことを証します。

平成27年 7月10日

市町村職員中央研修所

学 長



整理番号 165
領収書発行日 平成27年7月6日

領 収 書

高原 伸二 様

¥6,000※

但し、研修費として。

研修科目：市町村議会議員特別講座Ⅰ（政策基本コース）

受講者氏名：高原 伸二

入金日：平成27年6月18日

入金方法：銀行振込

千葉県美浜区浜田1-1

公益財団法人 全国市町村研修財団

市町村職員中央研修所

分任出納役

整理番号 167
領収書発行日 平成27年7月6日

領 収 書

高原 伸二 様

¥2,250※

但し、研修生活動費として。

研修科目：市町村議会議員特別講座Ⅰ（政策基本コース）

受講者氏名：高原 伸二

入金日：平成27年6月18日

入金方法：銀行振込

千葉県美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修所
分任出納役

No2

領 収 証

高原 伸二 様

27年7月29日

★

¥15,000

但「地方創生、地域活性化にむけて(応用編)」

7/29 14:00～セミナー受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F7-3

TEL 06 (7878) 6297

No 3

領 収 証

高原伸二 様

27年7月30日

★ ￥15,000

但 7/30 10:00~「議会基本条例と議会改革」
セミナー受講代として
上記正に領収いたしました

社団法人行政改革推進協会

03-0004

都中央区東日本橋2丁目28-4-2階

TEL 03 (6869) 1143

NO 4

領 収 証

高原 伸二 様

27 年 8 月 25 日

★

¥15,000

但 8/25 14:00～「効果的な一般質問作成ノウハウ」
セミナー受講代として
上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進
〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目28
TEL 03 (6869) 1143

高原伸二様

予約確認/請求書

福岡県知事登録旅行業 第2種-380号

ジョイトラベル有限公司

総合旅行センター

〒811-3103 古賀市中央1丁目6番40号

TEL: 092-943-1355

責任者:

FAX: 092-943-1366

担当者:

ツアー名: JAL往復航空券

出発日: 2015.10.28(水)

予約内容

■JR・航空・フェリーなど

利用日	出発地	到着地	便名	クラス	発時間	着時間	備考
2015/10/28	福岡	羽田	JAL302	普通席	7:45	9:15	
2015/10/30	羽田	福岡	JAL325	普通席	16:10	18:10	

■備考

請求内容

No	項目	単価	数量	金額	備考
1	JAL航空券(福岡⇄羽田)	42,380	1	42,380	
		合計		42,380円	
		お預り金額		42,380円	
		ご請求金額		0円	

お振込先

お振込手数料についてはお客様にてご負担下さいます様よろしくお願い致します。
2015.10.20(火)までにお振込み下さるようお願い申し上げます。

本請求書により、前回までの請求書を無効とします。

備考

整理番号 523
領収書発行日 平成27年10月28日

領 収 書

高原 伸二 様

¥2,250※

但し、研修生活動費として。

研修科目：市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）

受講者氏名：高原 伸二

入金日：平成27年9月11日

入金方法：銀行振込

千葉県美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修所
分任出納役

日程表

平成27年10月28日～30日

H27.10.28版

日時	日 程															
1日目 10/28 (水)	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center;">JR</td> <td style="text-align:center;">地下鉄</td> <td style="text-align:center;">飛行機</td> <td style="text-align:center;">リムジンバス</td> <td style="text-align:center;">バス</td> </tr> <tr> <td>古賀駅 +++</td> <td>博多駅 +++</td> <td>福岡空港 +++++</td> <td>羽田空港 ++++++</td> <td>海浜幕張駅 +++++</td> </tr> <tr> <td>6:33</td> <td></td> <td>7:45</td> <td>9:15</td> <td>市町村アカデミー</td> </tr> </table>	JR	地下鉄	飛行機	リムジンバス	バス	古賀駅 +++	博多駅 +++	福岡空港 +++++	羽田空港 ++++++	海浜幕張駅 +++++	6:33		7:45	9:15	市町村アカデミー
JR	地下鉄	飛行機	リムジンバス	バス												
古賀駅 +++	博多駅 +++	福岡空港 +++++	羽田空港 ++++++	海浜幕張駅 +++++												
6:33		7:45	9:15	市町村アカデミー												
2日目 10/29 (木)	市町村アカデミー															
3日目 10/30 (金)	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center;">無料バス</td> <td style="text-align:center;">リムジンバス</td> <td style="text-align:center;">飛行機</td> <td style="text-align:center;">地下鉄</td> <td style="text-align:center;">JR</td> </tr> <tr> <td>市町村アカデミー +++</td> <td>海浜幕張駅 +++++</td> <td>羽田空港 +++++</td> <td>福岡空港 +++++</td> <td>博多駅 +++</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>16:10</td> <td>18:10</td> <td>古賀駅 19:25</td> </tr> </table>	無料バス	リムジンバス	飛行機	地下鉄	JR	市町村アカデミー +++	海浜幕張駅 +++++	羽田空港 +++++	福岡空港 +++++	博多駅 +++			16:10	18:10	古賀駅 19:25
無料バス	リムジンバス	飛行機	地下鉄	JR												
市町村アカデミー +++	海浜幕張駅 +++++	羽田空港 +++++	福岡空港 +++++	博多駅 +++												
		16:10	18:10	古賀駅 19:25												

高原 伸二 様

予約確認 / 請求書

福岡県知事登録旅行業 第2種-380号

ジョイトラベル株式会社

総合旅行センター

〒811-3103 古賀市中央1丁目6番40号

ツアー名: ANA往復航空券+JR券

出発日: 2015. 11. 18(水)

TEL: 092-943-1355 責任者: [REDACTED]

FAX: 092-943-1366 担当者: [REDACTED]

予約内容

■JR・航空・フェリーなど

利用日	出発地	到着地	便名	クラス	発時間	着時間	備考
2015/11/18	福岡	羽田	ANA240	普通席	7:00	8:35	
2015/11/19	羽田	福岡	ANA3855	普通席	20:00	21:55	
2015/11/19	福島	東京	やまびこ148号	普通指定	17:01	18:36	

■備考

請求内容

No.	項目	単価	数量	金額	備考
1	ANA航空券(大人)	52,680	1	52,680	
2	JR券(大人)	9,058	1	9,058	
		合計		61,738円	
				お振り込み金額	61,738円
				お請求金額	0円

お振込先

[REDACTED]
お振込手数料についてはお客様にてご負担下さいます様よろしくお願い致します。
2015. 11. 17(火)までにお振込み下さるようお願い申し上げます。

本請求書により、前回までの請求書を無効とします。

備考